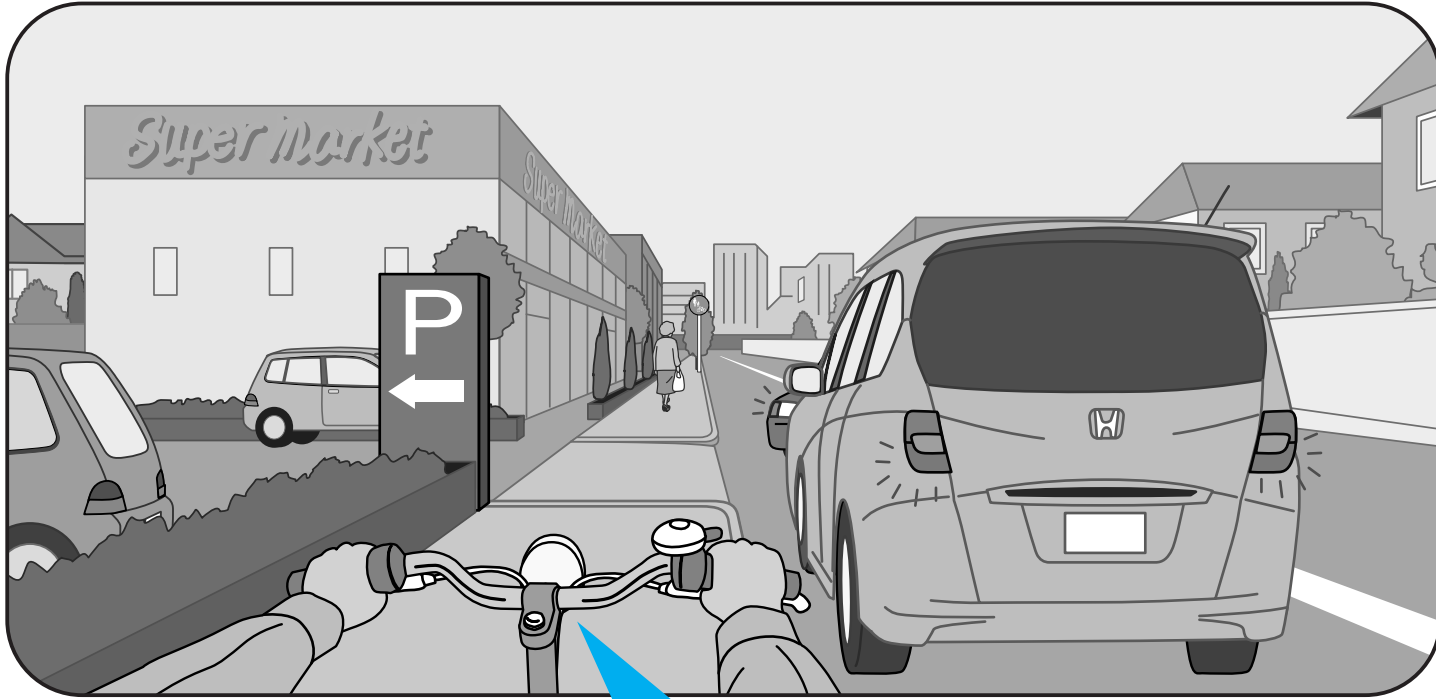


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第34回 駐車場の出入口を通過する時(自転車編)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は自転車利用者に、クルマの往来がある場所を通過する時の危険について考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくります。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部  
TEL: 03 (5412) 1736  
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたは自転車通行可の歩道を走っています。スーパーの駐車場の出入口の手前で右側にあるクルマが停車しました。

このような時、どんなことに気をつければ良いか考えてみましょう。

©本田技研工業(株)

指導者ファイル 15

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。



高松市交通安全指導員の皆さん  
写真左から、森美香さん、我部山裕子さん、七條美里さん、船城三知代さん、平松美晴さん

「あやとりい※」を活用して、幼児にわかりやすく指導

高松市は香川県の県庁所在地で、約42万人が暮らす都市である。同市では幼児から高齢者を対象にした交通安全教室等を年間424回(平成24年度)実施している。さらに毎年ゴールデンウィーク期間中には「高松春のまつり フラワーフェスティバル&交通安全フェア」を開催し、市民への交通安全啓発を行っている。こうした活動を支えているのが、高松市地域政策課交通安全対策室に所属する交通安全指導員の皆さんだ。

「幼児を対象にした交通安全教室では1つのことに時間をかけずに、いろいろな教材やツールを使って、子どもたちの集中力が途切れないようにしています。そのための教材の1つとして、Hondaの交通安全教育プログラム『あやとりい ひよこ編』もたいへん役立っています」と指導員の平松美晴さんは話す。森美香さんは「ワークシート(交通場面のイラスト)の中で、男の子や女の子のイラストを自由に動かすことができるので、子どもたちにわかりやすい説明ができます」と「あやとりい」の特長を挙げる。

また、高松市内で開催される交通安全イベントでは指導員の皆さんが寸劇を来場者に披露している。脚本を手がけているのは七條美里さん。

昨年、企画した「信号シスターズ」は好評だったようだ。「寸劇を観ている方々に、自分の運転や交通マナーについて振り返っていただけるよう、ストーリーを工夫しています。交通安全は人ごとではなく、自分自身にかかわることに気づいてほしい」と七條さんはいう。

※あやとりい= Hondaが鈴鹿市と協力して開発した交通安全教育プログラム。4~5歳児対象の「あやとりい ひよこ編」、小学3~4年生対象の「あやとりい」、幼児~小学校高学年対象の「あやとりい 自転車教室」、高齢の歩行者・自転車利用者対象の「あやとりい 長寿編」がある。あやとりいは「あんぜんを やさしく とぎあかし りかいして いただく」の略。詳細は以下ホームページを参照。  
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/ayatorii/>

指導者の皆さんの活動を動画でご紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>

★幼稚園・保育所で実施している 幼児向けの交通安全教室



「あやとりい ひよこ編」を活用して、道路のどこを歩くべきか子どもたちに考えさせよう



パンダに扮した交通安全指導員が横断歩道の渡り方を指導



子どもたちに学んだことを実践してもらおう

最後に覚えやすいフレーズを使って、子どもたちに守ってほしいことを印象づける



★オリジナルの寸劇「信号シスターズ」

「信号シスターズ」は街を行きかうクルマや自転車、歩行者を見続けている信号機が主人公。信号機の中から青信号のアイ、赤信号のアカネ、黄信号のキーコの3姉妹がマナーの悪さを指摘しながら安全行動を啓発するというストーリー



SJクイズ ?

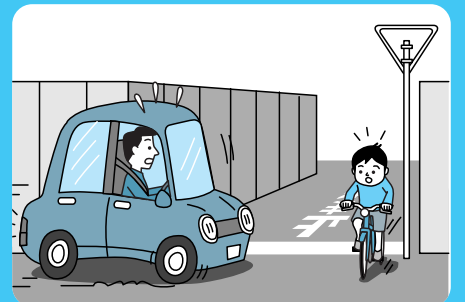
Q1 平成24年の自転車関連事故※件数は13万2048件で、このうち相手が歩行者の事故件数は2625件です。これは10年前(平成14年)の何倍でしょう?

※自転車が第1当事者または第2当事者となった交通事故

- ①約0.7倍 ②約1.0倍  
③約1.3倍 ④約1.8倍

Q2 平成24年の自転車乗用中(第1・2当事者)の死傷者数を法令違反別・年齢層別にみると、子ども(15歳以下)は「違反あり」が何%を占めているでしょう?

- ①約55% ②約60%  
③約65% ④約70%



Q3 平成24年の子ども(15歳以下)の自転車乗用中(第1・2当事者)の死傷者数を法令違反別にみると、最も多い違反は次のうちどれでしょう?

- ①安全不確認 ②一時不停止  
③交差点安全進行義務違反 ④動静不注視

※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

©本田技研工業(株)